

しろゆめをひめ

白雪姫

グリム作

グリム作

菊池寛訳

菊池寛訳

「鏡かがみや、鏡。国くにじゆうで、だれがいちばんうつくしいか、
いつともくわ。」

そのと、鏡はいつもこの答えをいきました。

「女王じゆうがいさま、あなたこそ、お国でいちばんうつくしい。」

それをきいて、女王じゆうがいさまは「安心あんしんなわるのだった。」

とこのは、この鏡は、こそをいわなごうのじゆうを、
女王じゆうがいさまは、よく知っていましたからです。

ある日、女王じゆうがいさまは、鏡の前まへにいて、おたずねに
なりました。

「鏡かがみや、鏡。国くにじゆうで、だれがいちばんうつくしいか、
いつともくわ。」

そのと、鏡は

「女王じゆうがいさま、この日は、あなたがいちばんうつくしい。」

けれども白雪しろゆめ姫は、千せんばいもこのうつくしい。

女王じゆうがいさまは、このじゆうをまかしたなゆび、びんごうの、

ねたましくなつて、顔かおいろ色を黄きいろくしたり、青あおくしたりなさい

ました。

小学一・二年生課題